

5. 骨・軟部腫瘍の診断における ^{201}Tl シンチグラフィの有用性

興津 茂行 牛嶋 陽 奥山 智緒
杉原 洋樹 前田 知穂 (京府医大・放)

^{201}Tl シンチグラフィは肺癌を始め、各種悪性腫瘍の診断や治療効果の判定に用いられている。今回、骨・軟部組織の良性腫瘍の診断での有用性について検討したので報告する。

対象は骨腫瘍 6 例、軟部腫瘍 5 例の計 11 例で、男性 6 例、女性 5 例。年齢は 10～86 歳で、平均年齢は 32 歳。使用装置は PICKER 社製 PRISM2000 と東芝製 GCA901A で、コリメータは低エネルギー高分解能型を使用した。 $^{201}\text{TlCl}$ 111 MBq を静注後、15 分にて早期像を、3 時間にて後期像を撮像した。前面および後面の Planar 像を撮像し、軀幹部の場合は SPECT 像を追加した。筋肉以外の軟部組織の集積を基準に、(－), (±), (+), (++) の 4 段階に分類し、早期像と後期像での集積を視覚的に評価した。結果は早期像で (－) 1 例, (±) 4 例, (+) 4 例, (++) 4 例で、後期像では (－) 1 例, (±) 4 例, (+) 3 例, (++) 1 例で、集積低下を認めたもの 8 例、集積低下を認めなかったもの 2 例であった。従来の報告では良性腫瘍の 90% 以上で、後期像で集積が不変あるいは低下していたといわれている。今回の検討でも、集積を認めたもののうち 80% に後期像での集積低下を認めており、従来の報告と合致し、良性腫瘍の集積パターンと考えられた。しかし、悪性腫瘍でも約 30% で後期像での集積低下を認め、約 45% で集積不変であったとの報告があり、良悪性の鑑別には、視覚的な集積変化のパターン分類のみでは不十分である可能性が考えられた。今後の検討課題として、視覚的評価では、分類の基準がやや不正確となるので、カウント比を算出し、評価する必要があるように思われた。

6. 当院における唾液腺シンチグラフィの検討

野村 曜子 加納 恭子 岸田 浩明
柳瀬 正和 松本 敏幸

(兵庫成人病セ・放)

昭和 62 年から平成 7 年 4 月までに唾液腺シンチグラフィとガリウムシンチグラフィを施行した唾液腺腫瘍を主訴とする症例のうち、手術によって病理組

織学的診断が得られた 38 例を対象に核医学検査の術前検査としての有用性を検討した。

唾液腺腫瘍の手術適応は、多形性腺腫や悪性腫瘍などのワルチン腫瘍以外のものが第一の適応となるため、ワルチン腫瘍とそれ以外の腫瘍を鑑別するためのフローチャートを設定し、38 例を検討した。その結果、38 例中 9 例をワルチン腫瘍と診断し、29 例をワルチン以外の腫瘍と診断した。一方手術によって得られた組織学的診断は、9 例中 7 例がワルチン腫瘍で、ワルチン以外の腫瘍と診断した 29 例中 1 例がワルチン腫瘍であった。フローチャートにのっとってワルチン腫瘍を診断すると感度 87.5、特異度 93.3 と良好な結果が得られた。

以上より唾液腺腫瘍の手術適応の決定に際し、 $^{99\text{m}}\text{Tc}$ パーテクネートとガリウムを併用した核医学検査が有用であると考えられた。

7. 頭頸部腫瘍における FDG-PET の臨床応用

阪本 浩一 松田 美貴 大橋 淑宏
中井 義明 (大阪市大・耳鼻)
河辺 譲治 岡村 光英 越智 宏暢
(同・核)
小橋 肇子 城村 尚登 (同・三内)

〔目的〕われわれは頭頸部腫瘍に対する ^{18}F -Fluorodeoxy-glucose (以下 FDG) を用いた Positron emission tomography (以下 PET) の有用性について検討してきた。今回悪性疾患における腫瘍の糖代謝と進行度 (T 分類, Stage) の関係、放射線化学療法前後の糖代謝の変化、および組織学的効果との関係について検討した。〔対象〕大阪市立大学耳鼻咽喉科にて加療した原発性頭頸部悪性腫瘍 25 例である。内訳は鼻副鼻腔 6 例、舌・口腔底 8 例、上咽頭 3 例、下咽頭 2 例、喉頭 2 例、耳下腺 1 例、原発不明頸部 3 例。男性 19 例、女性 6 例。平均 58 歳である。〔方法〕院内小型サイクロトロンにより作製した FDG を、185–370 MBq 静注した。静注開始後から 40–55 分後に撮像し PET 画像より病変部の放射能濃度を測定した。集積程度を Distribution Absorption Ratio (以下 DAR): 組織放射能/(注射量/体重)で評価した。これを治療前に行い、治療後にも施行した。〔結果およびまとめ〕治療前の腫瘍の糖代謝は進行度についての検討